

## 点検・評価の様式

政府統計コード	00400304	
基幹・一般の別(選択記入)	その他の一般統計調査	
調査の名称	児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査	
政府内における調査結果の利活用状況 ※該当するものを選択(複数選択可)	<input type="radio"/>	重要な政策の立案・実施・評価の直接の根拠資料として利用
	<input type="radio"/>	国が給付する手当や給付金の算定根拠として利用
	<input type="radio"/>	月例経済報告に利用
	<input type="radio"/>	基幹統計の作成に利用
	<input type="radio"/>	基幹統計以外の重要な統計の作成に利用
	<input type="radio"/>	その他(各種白書や行政説明等において利用)
特記事項		

## ① 調査計画との整合性確保等の観点

<p>調査計画との整合性 (整合している場合チェック)</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 1.調査の目的	<div> <div>全項目整合</div> </div>	
	<input checked="" type="checkbox"/> 2.調査対象の範囲 ※		
	<input checked="" type="checkbox"/> 3.報告者数等 ※		<div> <div>報告を求める個人又は法人その他の団体(報告者)の数等</div> </div>
	<input checked="" type="checkbox"/> 4.報告事項とその基準期日 ※		<div> <div>報告を求める事項及びその基準となる期日又は期間</div> </div>
	<input checked="" type="checkbox"/> 5.報告の方法 ※		<div> <div>報告を求めるために用いる方法</div> </div>
	<input checked="" type="checkbox"/> 6.報告を求める期間 ※		
	<input checked="" type="checkbox"/> 7.集計事項 ※		
	<input checked="" type="checkbox"/> 8.結果の公表方法及び期日 ※		<div> <div>調査結果の公表の方法及び期日</div> </div>
	<input checked="" type="checkbox"/> 9.使用する統計基準		
	<input checked="" type="checkbox"/> 10.調査票情報の保存		<div> <div>調査票情報の保存期間及び保存責任者</div> </div>
	<input checked="" type="checkbox"/> 11.立入検査		<div> <div>基幹統計調査のみ</div> </div>

(注1)「※」を付している一般統計調査の点検項目については、調査事項の10%未満の変更等、承認を要しない「軽微な変更」の範囲や公表内容との整合性に留意して点検を実施

(注2) 不整合は生じていないものの、調査計画の改善を検討(予定)している事項がある場合はシート②で記載

② 統計の品質確保・向上を図るための統計作成プロセスの水準の段階的な向上の観点

業務マニュアル等の整備・共有の状況及び実際の業務の実施状況の確認等	<input type="checkbox"/> 課題なし <input checked="" type="checkbox"/> 課題あり、見直し・改善を実施（予定含む） <input type="checkbox"/> その他（例：課題精査中、課題はないが見直し・改善を実施（予定含む）等）
-----------------------------------	---

	見直し・改善の概要（自由記入）	見直し・改善の内容（左記の類型） （該当するものを選択、複数選択可能）	見直し・改善の対応方法・手段 （複数選択可能）	対応状況 （選択記入）
記入欄 No. 1	・現在は担当者間で引き継がれる手順書等に基づいて調査を実施しているが、統計作成プロセス全般を網羅した統一的な業務マニュアルがないため、統計作成ハンドブック等を参考に業務マニュアルを整備予定。	調査計画の見直し・改善 ○ 業務マニュアル等の整備・充実・改善 品質の表示 変更管理の実施 遅延調査票への対応 外部委託先からの意見や改善提案の聴取 DXの実施、データのデジタル化 システムの要件・仕様の可視化 プロセス診断結果の取り込み その他プロセスの段階的な向上に向けた取組	調査計画の変更申請 調査計画の軽微変更 ○ 業務マニュアルの整備・充実 実施方法の見直し その他	対応中/対応予定
記入欄 No. 2	・不登校の要因について、一部の項目に偏った回答が数年間続いており正確な実態把握のために項目内容及び選択方法の変更を令和5年度に申請予定。 ・誤答が多い質問項目について、調査対象者の負担軽減のためエラーチェック欄を増やす。	○ 調査計画の見直し・改善 業務マニュアル等の整備・充実・改善 品質の表示 変更管理の実施 遅延調査票への対応 外部委託先からの意見や改善提案の聴取 DXの実施、データのデジタル化 システムの要件・仕様の可視化 プロセス診断結果の取り込み その他プロセスの段階的な向上に向けた取組	○ 調査計画の変更申請 調査計画の軽微変更 業務マニュアルの整備・充実 実施方法の見直し その他	対応中/対応予定

### ③ 必要な精度の確保・向上の観点

	目安としている指標の設定状況			目安としている指標の具体的推移 (自由記入。別紙も可)		
	精度管理の目安としている指標区分 ※該当するものを選択(複数選択可)	目安としている指標の具体的な 設定内容・考え方等 (自由記入。別紙も可)	目安としている 指標の設定時期 (自由記入)	今回調査 (又は前回調査)	前回調査 (又は前々回調査)	前々回調査 (又は前々前回調査)
1 調査の実施目的を確保するための 精度管理の実施状況	達成精度	本調査は、全国の状況を調査・分析することで実態把握を行い、児童生徒の問題行動・不登校等の未然防止、早期発見・早期対応につなげていくことを目的としており、遺漏なく調査票を全国から回収することは精度管理の維持につながるため、回収率100%を目標としている。		令和4年度調査 100.0%	令和3年度調査 100.0%	令和2年度調査 100.0%
	○ 回収率・回答率					
	回収調査票数					
	カバレッジ					
	その他					
	設定なし					